

授業科目	国際ボランティア演習				実務家教員担当科目	○					
単位	2.	履修	選択	開講年次	2	開講時期	後期				
担当教員	Kristen Maree Sullivan										
授業概要	<p>この授業では、受講者は国際ボランティア活動を行う。国際協力とは何かについて確認したうえで、本授業に協力してくれる NGO の活動について調べたり、直接聞いたりして理解する。また、私たちはどのような形でこの NGO の活動に貢献できるかについても確認する。受講者のスキルや興味関心を確認したうえで、本授業で行うボランティア活動の内容を話し合っ決めて。それぞれのグループで行う活動について、グループのメンバーと協力しながら、また協力してくれる NGO のスタッフと相談しながら、企画し、実施していく。活動を行っている中で、活動内容や活動方法等について振り返ったりして、問題点や改善すべき点があれば、活動の仕方を調整していくことが求められる。最後に、実施した内容について NGO の代表・スタッフや学内外に報告する。</p> <p>この授業を通して、国際協力について考えることだけでなく、「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」などいわゆる社会人基礎力の育成も目標としている。実務家教員として自身の国際交流の経験を生かし、皆様の実践や学びをサポートする。</p> <p>ボランティアプロジェクトの内容によっては学外活動が伴う場合がある。</p>										
授業形態	演習	授業方法	PBL（課題解決学習）・グループワーク・プレゼンテーション・ディスカッション								
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国際協力の在り方について理解できる。 2. 国際ボランティアプロジェクトを企画し、実施することができる。 3. 実施した内容に振り返り、問題点や改善点について考えることができる。 										
理想的レベル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国際協力の在り方について説明できる。 2. 国際ボランティアプロジェクトを企画し、実施しながら、自分や自分のグループの活動・活動の仕方に適時に振り返り、問題点や改善すべき点を特定した場合すぐに改善に努めることができる。 										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合（数値）				備考						
試験											
小テスト											
レポート	60%				① 振り返り課題（20点）、② 広報用の報告（10点）、③ 振り返りレポート（30点）						
発表（口頭、プレゼンテーション）	10%										
レポート外の提出物											
その他	30%				プロジェクトへの取り組み状況や姿勢						
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	EN21501J/E
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安（時間）	
プロジェクトへ取り組むこと。										4	

授業計画	
第1回	オリエンテーション 授業の概要について説明する。
第2回	国際協力について・事前学習 国際協力とは何か。国際協力の歴史と現状を確認し、国際協力の様々な形について考える。今の私たちにはどのような国際協力を行うことができるのかについて考え始める。 第3回・第4回の授業で外部講師を務める方が所属する団体がどのような活動をしているかなどについて資料やウェブサイトなどを通して確認する。次回の授業で外部講師に聞きたいことについても考える。
第3回	現場について知る1 国際協力に取り組んでいる団体の方から直接話を聞くことを通して団体の活動等について知ると同時に国際協力について考える。(外部講師)
第4回	現場について知る2 国際協力に取り組んでいる団体の方から直接話を聞くことを通して団体の活動等について知ると同時に国際協力について考える。(外部講師)
第5回	振り返り・ボランティアプロジェクトの実施への準備 外部講師から聞いた話についてディスカッション・意見交換を行う。 外部講師の所属団体に対して私たちはどのように協力して貢献ができるのか。皆さんは本科目を通してどのようなボランティア活動をしたいのか。本科目で実施するボランティアプロジェクトについて話し合っ、誰がどのようなプロジェクトを行うかを大まかに決める。
第6回	ボランティアプロジェクトの実施1 それぞれのグループで、プロジェクト内容を具体的に企画し、途中報告をする。(学外活動が伴う場合がある。)
第7回	ボランティアプロジェクトの実施2 それぞれのグループで、プロジェクト内容を具体的に企画し、途中報告をする。(学外活動が伴う場合がある。)
第8回	ボランティアプロジェクトの実施3 それぞれのグループで、プロジェクトを実施し、途中報告を行う。(学外活動が伴う場合がある。)
第9回	ボランティアプロジェクトの実施4 それぞれのグループで、プロジェクトを実施し、途中報告を行う。(学外活動が伴う場合がある。)
第10回	ボランティアプロジェクトの実施5 それぞれのグループで、プロジェクトを実施し、途中報告を行う。(学外活動が伴う場合がある。)
第11回	ボランティアプロジェクトの実施6 それぞれのグループで、プロジェクトを実施し、途中報告を行う。(学外活動が伴う場合がある。)
第12回	ボランティアプロジェクトの実施7 それぞれのグループで、プロジェクトを実施し、途中報告を行う。(学外活動が伴う場合がある。)
第13回	ボランティアプロジェクトの実施8 それぞれのグループで、プロジェクトを実施し、途中報告を行う。(学外活動が伴う場合がある。)
第14回	ボランティアプロジェクトの実施9

	それぞれのグループで、実施したプロジェクトに振り返り、問題点や改善点について考える。次回に開催する発表会の準備に取り組む。
第15回	発表会、全体の振り返り・まとめ それぞれのグループに活動内容や成果、振り返りの結果などについて発表してもらう。可能であれば、協力団体の方にも参加していただく。 今後、どのような形で国際協力に関わりたいか、持続可能な活動の在り方、継続性のあるグローバル・パートナーシップの在り方についても考えよう。
テキスト	適宜資料を配布する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	適宜授業中に紹介する。
課題に対するフィードバックの方法	課題・ボランティアプロジェクトの内容や進捗状況などに対するフィードバックは、適時に授業中に口頭で行ったり、Google Classroomの機能やメール等を用いて行います。
学生へのメッセージ・コメント	1. 国際社会に対する興味関心と基礎的な世界情勢についての知識を身につけることが重要です。新聞を読んだりニュースを見たり、気になるNGO・NPO団体のホームページやSNSを日頃から確認するようにしましょう。 2. 北九州市内にさまざまな国際交流・国際貢献・国際協力のイベントやプログラムが実施されています。是非一度参加してみてください。